



第11回

塚原 希望

豊かな「朝文化」を創る

情熱「境」では、境町在住・出身の方で、芸術、音楽、スポーツ等、様々な分野で活躍されている方を紹介します。
第11回は、境町の塚原商店(本船町)のお嫁さんで、TV、雑誌等数多くのメディアで取り上げられているオーガニック卵専門店「eggcellent」(六本木ヒルズ)を経営されている「塚原希望」さんです。



「eggcellent」
(六本木ヒルズ内)
ホームページURL
<http://eggcellent.co.jp/>

オーガニック卵専門店『eggcellent』取締役COO

◎**お店を始めたきっかけ**
子どもの頃から食育が大好きで、好きなことはとんつきつめるタイプでした。
大学時代に今の主人と出会って、彼とお金を貯めて行ったハワイで飲んだ一杯のスムージーが、大きなきっかけになりました。「こんなに美味しく元気になるものが、ハワイにあるんだ!!」と感動して、「こういうものを日本に持ってくる仕事したい」と思うようになりました。
その後、「世界中の美味しいものを食べたい」という思いもあり、全日本空輸株式会社に入社しました。
客室乗務員として世界中を飛び回る中、ハワイで出会った友人達が、朝の時間をすごく大事にしている、朝の時間の過ごし方が豊かな生活へつながることを教えてくれました。そういった朝食を含めた「朝文化」を日本に広めたいという思いで、「エッグセレント」を開店しました。

◎**お店のこだわり**
山梨県の生産者からオーガニック卵を直接仕入れたり、栃木県の牧場の方とヨーグルトの開発を行ったり、とにかく素材にこだわっています。
また、企業のミーティングや英会話の集まりなど「朝活」の場としても力を入れています。

◎**今後の抱負**
会社の理念である朝文化を創っていきたいのはもちろんですが、朝文化を体感することで感じて頂けるワクワクする気持ちや元気を得られる気持ちを「エッグセレント」

◎**ご主人について**
主人も食育が大好きで、メニュー開発の時は一緒に試作をしてくれたり、アイデア面でもアドバイスをくれたりと積極的にサポートしてくれる公私共々かけがえないパートナーです。

◎**境町について**
地元の繋がりを大切にされていて、町やそこに住む人にとっても愛情や思いがある方がばかりだと感じました。特に両親から感じています。

◎**ご主人について**
主人も食育が大好きで、メニュー開発の時は一緒に試作をしてくれたり、アイデア面でもアドバイスをくれたりと積極的にサポートしてくれる公私共々かけがえないパートナーです。



▲看板メニューのエッグベネディクト



▲店内には卵をイメージしたオブジェが並びます



▲大学時代からの付き合いで、積極的に希望さんのサポートをしてくれている主人(大輔さん)との2ショット

俳句

兼題「春一番・雛祭・雲雀」他当季雑詠

三月二十一日 境町文化協会俳句部

春一番関東ロームの土煙

省三

※永年、町の俳句部員として活躍の作者。現在は神奈川県在住だが、以前は猿島地区にお住まいだった。春一番が自宅前の農地を吹き抜けていった光景が恋しくも懐かしい。

目を細め雛飾りする嫁の居り

仁

※孫娘の節句を間近にして、嫁がお雛様の飾り付けに精出してゐる。いつになく細く見える目からは歎びと安堵の思いが伝わってくる。そんな我家の嫁が誇らしい。

天守閣より富士より高き雲雀かな

幸子

※かぎりなく田園風景の広がる猿島台地。待望の圏央道も遂に開通の運びとなった。恰も、この世紀の慶事を祝福するかのよう、雲雀が歓喜の囀りを繰り返している。大空高く...

揚げ雲雀耳そばだてる窓辺かな

な

蔵の町歴史が語る真壁雛

み

孫娘笑顔見たさに雛飾る

信子

雲雀野に明けて暮れては里暮らし

つね

蔵の町春一番を物とせず

正六

春一番髪逆立てて登下校

正六

春一番屋敷の筵捲られし

正六

雲雀野や三歩離れて夫の声

正六

圏央道クレーン微動す春一番

正六

天空にどこまで舞うや揚げ雲雀

正六

春一番母は子を抱き家陰へ

正六

雛壇に坐れば眠らぬ雛となり

正六

春一番吹いて行楽近づけり

正六

とこしえに娘の幸願つて雛祭

正六

寒き込む我に雲雀の甲高き

正六

雛人形客間を一つ明け渡し

正六

春一番吹けば蠢く旅の虫

正六

短歌

境短歌会 山鳩

香煙の中に浮びくる若き父早や七十年吾も八十路過ぐ

鈴木 喜与子

狭庭辺に梅香漂う鉢植えの何時しか春が我家に届く

桜井 レイ

窓くれば光みなぎる今朝の庭咲きし辛夷の白さまばゆき

斉藤 敬子

道の端ツンツン伸びたつくしんぼう今朝気づいたよ君た

川村 米子

ちの春

風間 リヨ子

桜島行き交う船に初夏の陽が眩しく光り波頭切る

稲田 美重子

悲しみ嬉しき越え来たり八十路となりて歌をたのしむ

飯田 俊子

扇持ち舞台で踊る貴女達今青春生涯学習

松岡 美智子

檜葉の根かたにそいて春蘭の数多の蕾春のいぶきを

本島 いと子

数多なるシクラメンの花玄関に花を愛する我が友の家

五月女 三枝子

桜も終り新緑が目染める様に萌える季節になりました。八十八夜の別れ霜という言葉がありますがおそ霜の降りる時期の目安として来たそうです。
猿島地方ではお茶摘みが盛んに行われるのではないかと考えます。先日故海老原孝子先生の歌集を再度読ませて頂きました。表現の豊かさを改めて痛感致しました。歌友と共に又今後も楽しく学んで行き度いと思えます。

「広報さかい」へ 有料広告を掲載しませんか?

- ◎1段全枠... 15,000円
- ◎1段半枠... 8,000円

※詳しくはお問合せください。
◆問合せ先 役場企画経営課 電話 0280(81)1309
E-mail kouhou@town.sakai.ibaraki.jp

アルク Kiddy CAT 英語教室
入会キャンペーン! MEIchan
 無料体験レッスン実施
 対象 幼児~小学生
 TEL: 0280-87-6781
 E-mail: kcmc1403@gmail.com
 住吉町教室 大塚明子
 境小学校前バス停より徒歩1分